

国鉄労働者の敵=尻貧たそがれの『本部派千葉地本』を解体しよう！佐倉大会開幕

佐倉支部定期大会は、十二月十一日、十時二〇分より機関区講習室において、代議員と多くの傍聴者が参加する中で開催されました。来賓は動労千葉本部より関川委員長・西森執行委員・森内特執・中江昌夫顧問が参加しました。

支部通信員・発

仲裁未実施の攻撃をはね返そう
堀口支部長があいさつ

大会は、能勢副支部長の司会により、まず大会成立宣言（執行部9名中の9名、会計監査2名中2名、代議員31名中29名）が行われ、議長に平川代議員を選出しますめられました。

あいさつにたった堀口支部長は、「十・一一、三里塚集会は一三五〇名、動労千葉から四五〇名、佐倉支部からもかつてない動員をかちとり、当局・権力・革マルの三位一体の攻撃をはね返してきた。『五七・一一ダイ改』では、動労『本部』革マルの裏切りがより一層はつきりし、いまや国鉄労働者の敵だ。千葉全部ひっつき集めても『本部派千葉地本』は、近々一〇〇名を割る尻貧状態にあり、『本部派』解体をかちとろう。そして、政府・自民党の仲裁々定未実施に対して、断固としてはね返そう」とあいさつしました。

当局に手を貸す動労『本部』を一掃しよう

関川委員長があいさつ

来賓のあいさつは、動労千葉本部を代表して関川委員長が、「動労『本部』革マルの、この間の国鉄労働者を当局に売り渡し、奴隷になれとのやり方は、もはや労働組合とはいえない。いま全国の国鉄労働者は、動労千葉の闘いに注目し、動労千葉に結集してきている。国鉄当局の現協協約改悪攻撃は、労働組合は認めないというものであり、こうした当局の攻撃に対し、動労『本部』は鉄労とともに早々と認めてしまった。当局に手を貸す動労『本部』を一刻も早く解体しよう」とあいさつしました。

信念と経験をもとに全力で勝利する

中江顧問が決意表明

また、船橋市議選に立候補する中江昌夫顧問は、市議選に立候補を決意するにいたった経過を話され、「動労千葉が核になって、いまこそ国鉄労働運動を再生し、戦闘的労働運動を構築しなければならぬ。自分の信念と経験をもとに全力で闘い、必ずや勝利をかちとる」との決意を表明しました。

活発な討論により職場から反撃に起つことを確認

自信と確信に満ちた大会の活発な討論は、この1年間の佐倉支部の運動的・組織的前進と支部組合員131名の固い団結を示していた。（答弁に立つ堀口支部長）



議事がすすめられ、規約の一部改正が提案され、討論に入りました。質疑討論の中で、「佐倉機関区の将来展望について、E.LのB運行をかちとろう」「検修合理化を許さない闘いを展開していく」「鉄労・宇野沢に対する糾弾闘争を展開していく」「『本部派』一掃の闘いを強める」等々を確認し、「国鉄労働運動解体攻撃と対決し、一人ひとりが活動家になって、職場から怒りの反撃に起ちあがる」を合言葉に闘っていくことを決定し、十三時四五分、成功裡に終了しました。

一九八二年度新役員は次の通りです

支部長	堀口太一	五一才	機関士
副支部長	能勢明彦	三八才	検査係
書記長	田中龍美	三一才	検査係
執行委員	三山良民	四〇才	検査係
"	宮内正志	三四才	機関士
"	室岡孝志	二五才	事務掛
"	小出 実	二三才	"
"	軒名貞夫	二四才	検査係
"	笠井 清	二四才	機関士
青年部長	根本昭吉	五二才	"
会計監査	藤方英男	三七才	検査係

82.12.17
No. 1222

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六・（公電）三三三二七二〇七